

令和8年度家庭教育支援者研修会

主催：岡山県教育委員会

【目 的】

管内各市町村で活動中の家庭教育支援チーム関係者や、「親育ち応援学習プログラム」ファシリテーター等が一堂に会し、講演及び情報交換等をとおして、家庭教育支援チーム関係者やファシリテーターの資質向上及び、支援者同士のネットワークの構築等を図り、各市町村における家庭教育支援の充実に資することを目的とする。

○日時：令和8年7月16日（木）
13：30～16：15

○場所：津山市中央公民館

○日程

13：30～13：40 開会行事
13：40～14：40 実践発表

「津山市の家庭教育支援の取組」

発表者 津山市教育委員会学校教育課 小林昭太 氏
津山市家庭教育支援チーム「はびまる」
渡邊文子 氏 本多正寛 氏

14：40～14：50 休憩
14：50～15：35 他市町村との交流・情報交換
15：35～16：05 各市町村での協議
16：05～16：15 閉会行事



津山市の家庭教育支援の取り組みについて発表していただきました。親プロにおけるアイスブレイクや場の雰囲気づくりの大切さを家庭教育支援チーム「はびまる」のチーム員による親プロ体験を通して感じることができました。グループに分かれて行った交流ではアイスブレイクの手法や各市町村の家庭教育支援チームの取り組みを活発に話し合いました。津山教育事務所管内の家庭教育支援チームの繋がりが深まり、温かい研修会となりました。

参加者の声

- 各地域ごとに、内容や形態も違うので、交流できて良かったです。実践発表が参加型だったので体感として、理解しやすく楽しかったです。
- アイスブレイクは場をなごませる上でも大切な時間だと再確認しました。いろいろな方法を知り、今後も活用できたらと思いました。各地区の取り組みも知ることができ、参考になりました。
- 津山市の取り組みを聞いて、ファシリテーターの方が前向きで元気がいいなと感じました。その方の元気と話術、技術をもらって帰ります。
- 保護者同士の交流がコロナ後かなり少なくなって改めて親プロの必要性を感じました。他の地域の方とも交流できて、自分が活動できていない部分やこれからの活動にいかせる内容が沢山ありました。

